

ジャパンアズ No.1 と言われた世界に冠たる経済大国日本は凋落を続けています。

1997年をピークに賃金が上がらない唯一の国になっています。全雇用者の31%が200万円以下の所得、50%が400万円以下という状態です。1989年から4年連続世界の競争力も2020年は37位。1990年に時価総額世界上位50社のうち32社あったものが現在32位のトヨタ1社のみという惨憺たる現状です。

異次元の金融緩和も日銀や年金基金まで動員して株価だけ上げたもの先進国で最低の成長率(IMF統計)。個人消費は一向に増えません。安倍管政権下で中抜き、丸投げ、関係者のみの既得権が横行したのは持続化給付金、アベノマスクをみても明らかです。

新型コロナ感染症対策を見ても、最悪時は13万5千人も自宅療養という名の自宅待機をさせられました。対人口比で世界の病院病床(ベット)は誰のためなのかわかりません。ワクチン接種だって本当はオリンピック前の6月までに国民の7割は終了する予定でした。今やっと60%です。官邸権力だけを見ている平目官僚群の失策でもあります。新自由主義的な格差を拡大する金融資本主義から今こそ、額に汗する中間層を厚くする「健全な資本主義」への転換、忖度、隠ぺい、改ざん、ウソが横行する政治を「成熟した民主主義」に戻す運動が必要です。

原子力発電所の廃炉、汚染水、核のゴミなど重要な課題は半永久的に先送りされてきました。

今、国民は庶民は明日への展望もなく、預金もなく、ぎりぎりの生活をしています。歯をくいしばり頑張っています。

表紙を変えただけに騙されてはいけません。コロナ禍の与党政府の無能を忘れてはなりません。

私たちは健全な保守、中道を結集して国民の声が届く、公平な分配、あらゆる人にチャンス拡大する現代版「自由民権運動」を展開します。

以上の文は、志を高く掲げ、新しい政党を立ち上げようとした同志の思いです。

今回は残念ながら新党立ち上げまで至りませんでした。いくつかの教訓を得ました。何よりも多くの同志との出会いがありました。次期を目指して研鑽を積んでまいります。

令和3年10月12日

参議院議員

上田 清司